

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社	澤寿運輸	澤田健吾	鳥取県	運輸業、郵便業	https://sawatoshi.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2023年2月2日

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先と共に、荷待ち時間や運転者の作業の効率化など、付帯作業の合理化を推進するよう努めます。
2	A ③	パレット等の活用	パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	取引先と共に、荷待ち時間や運転者の作業の効率化など、付帯作業の合理化等を積極的に改善するよう努めます。
7	A ⑦	運転以外の作業部分の分離	運転業務と運転以外の付帯業務を明確にすることで取引先に運転者の適正料金収受に努めます。
8	A ⑮	納品日の集約	取引先と協議の上、隔日配送化、定曜日配送化等の納品日の集約を行っていきます。
9	A ⑯	検品水準の適正化	取引先から検品方法(例検品レス化、事後検品化等)や返品条件(例. 段ボールの汚れ、擦り傷があっても、販売商品に傷が無ければ返品しない)等について、協議を行い、検品水準の適正化に努めます。
10	A ⑰	物流システムや資機材の標準化	データシステムの仕様やパレットの規格の標準化について、取引先と協議し、推進していきます。
11	B ①	運送契約の書面化の推進	運送契約の書面化を推進します。
12	B ②	運賃と料金の別建て契約	運送契約を締結する場合には、運送の対価(運賃)と運送以外の役務等の対価(料金)を別建てで契約することを原則とします。
13	C ①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	契約する取引先を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
14	C ②	働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用	働き方改革や輸送の安全性の向上等に積極的に取り組みます。
15	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、取引先と協議の上、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等の判断を行い、輸送の安全に努めます。
16	E ③	物流を考慮した建築物の設計・運用	自社が新規に建築する施設については、国土交通省「物流を考慮した建築物の設計・運用について～大規模建築物に係る物流の円滑化の手引き～」を参考にして設計・運用します。
17	F ①	独自の取り組み	業務の標準化を行うことで運転者と作業員の負担を軽減し、リスクの分散を行います。併せて、業務を交代できる作業員を確保することで休日を取りやすくし、働きやすい環境の整備に努めます。
PR欄		食品物流に特化し、ラストワンマイル物流の強化を行っています。	